

会 議 録

会議の名称	第3回茨木市生涯学習施策推進委員会
開催日時	令和4年1月20日(木) (午前・ 午後 6時00分 開会) (午前・ 午後 7時30分 閉会)
開催場所	市役所南館8階 中会議室
委員長	今西 幸蔵 委員長
出席者	【委員】 今西委員長、安藤委員、内山委員、落合委員、木村委員、桑本委員、 佐野委員、高尾委員、野崎委員、三輪委員、森委員、矢野委員、山田委員 ＜以上、13名＞
欠席者	井上委員、式田委員 【2人】
事務局職員	上田市民文化部長、今西文化振興課長、地頭江文化振興課参事、 新谷文化振興課主幹 【4人】
開催形態	公開
議題(案件)	1 開会 2 茨木市生涯学習推進計画(案)の審議について 3 その他 4 閉会
配布資料	1 会議次第 2 茨木市生涯学習推進計画(案) 3 第2回茨木市生涯学習施策推進委員会後のご意見への対応・回答(案) 4 目指すべき姿キャッチフレーズ候補(案)
傍聴人	0人

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会
今西課長	ただ今より、第3回茨木市生涯学習施策推進委員会を開催する。 本日の出席状況は、委員総数15人中、現在13人にご出席いただいているので、委員会規則第6条第2項より、会議は成立している。規定に基づき、議事進行は今西委員長にお願いしたい。
今西委員長	報告のとおり、本会議は定員を満たしていることから、会議を進行する。なお、第1回に決定したとおり、会議は公開とする。
	2 茨木市生涯学習推進計画(案)の審議について
今西委員長	それでは、茨木市生涯学習推進計画(案)の審議について、各委員より意見をいただきたい。事務局より説明を求める。
地頭江参事	【茨木市生涯学習推進計画(案)について】
今西委員長	事務局より説明を頂いた。ご意見ご質問はあるか。
落合委員	2点ある。1点目は、誤字脱字である。39ページの「(1) 学びの支援などに関する課題」の「②自己を高めるための学び直しへの支援」の1行目「～講座等の充実を図る」は「～講座等の充実を図る」ではないか。また、同ページの「④生涯学習の情報提供と相談窓口の充実」の2行目「～手段することがでる方法」は「～手段とすることができる方法」ではないか。 2点目は、「第3章 アンケート調査と市の取組から見える課題」の章立てにおいて、「Ⅰ アンケート調査結果からみる本市の特徴と課題」と「Ⅲ 本市の生涯学習における課題」の2つがどのように関連しているのか読み解くのが難しいのではないか。
今西委員長	事務局、いかがか。
地頭江参事	第3章の各課題の関連は、ⅠとⅡより「アンケート調査結果」や「国と市における生涯学習の取組内容」等を整理し、ⅢはⅠとⅡを踏まえ、本市の生涯学習における課題を3つの項目にまとめたものである。
野崎委員	第4章「生涯学習を推進するための目指す姿と取組」について、前回は「生涯学習の推進」であった。個人的には、前回と同様「生涯学習の推進」でよいのではないか。また、第4章「Ⅰ 目指すべき姿」という表現について、「べき」はしなくてはならないという強い表現となるため、「めざす

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	姿」でよいのではないか。
今西委員長	事務局、いかがか。
地頭江参事	第4章のIは、「めざす姿」へ修正し、第4章のタイトルは検討する。
今西委員長	他いかがか。 次に、キャッチフレーズの検討を行ってもよろしいか。事務局より説明を求める。
地頭江参事	キャッチフレーズは、41ページの「I めざすべき姿」にある「“学んで楽しい”と思える生涯学習活動のできるまちの実現を目指します」に基づくものである。各委員より意見をいただき、キャッチフレーズ案は11案あったため、事務局にて4つに絞った。4つのキャッチフレーズ案は、現行案の「みんなの“楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木」と、山田委員、落合委員、安藤委員の4つである。発案いただいた3名の委員には、キャッチフレーズの趣旨等の説明願いたい。
今西委員長	では、発案された委員は順次説明を求める。
山田委員	私は「ともに学び 楽しみ 活かす 生涯学習のまち茨木」を提案した。生涯学習の最終的な学びは自分自身の能力を養うものである。学びの過程において、共に学び合うことは刺激を与え合い、自分の能力を高められると思う。また、自分の学びが人の役に立つことができればより良いという意味を込めて、「ともに学び 楽しみ 活かす」がよいのではないかと思う。
今西委員長	山田委員の想いが伝わった。続いて、落合委員はいかがか。
落合委員	私は「わたしが生きる あなたが生きる 生涯学習のまち 茨木」を提案した。まちを形作るものは、最終的には個人であり、その個人の学びがまちを作っていくと考えた。そのため、生涯学習をする人は、学習する個人が主人公となり取り組むという思いを「わたし」に表し、この部分を最大のポイントとした。
今西委員長	落合委員の言葉の意味がよく分かった。続いて、安藤委員はいかがか。
安藤委員	私は「きらめき はばたく まなびのまち 茨木」を提案した。このキ

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>キャッチフレーズは、「生涯学習センターきらめき」の愛称が市民にも定着しているため、「きらめき」という愛称を活かしつつ、市のシンボルマークである鳩より「はばたく」を並列した。また、「生涯学習」という固いイメージとなる4文字熟語は省き、全世代に響きやすい平仮名の「まなび」にした。</p> <p>「まなび」には、新しいことに出会った際に、楽しくきらめくようなイメージがあり、新しいことを知ることによって新しい世界に行くことができるという意味を込めた。</p> <p>また、このキャッチフレーズは案のため、様々な意見を取り入れて再考していただいても構わない。</p>
今西委員長	<p>提案いただいたキャッチフレーズはどれも素敵ではあるが、1つに選ぶため議論していただきたい。いかがか。</p>
佐野委員	<p>現行のキャッチフレーズ「みんなの“楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木」が素晴らしいと思うが、落合委員の「わたしが生きる あなたが生きる 生涯学習のまち 茨木」は、「生きる」が「活きる」という文字が使われていることより行動が伴っていると感じる。また、安藤委員の「きらめき はばたく まなびのまち 茨木」は、「生涯学習のまち」という言葉が省かれており、斬新である。</p>
今西委員長	<p>佐野委員、貴重なご意見ありがとうございます。他いかがか。</p>
内山委員	<p>どのキャッチフレーズも委員の想いに納得ができ、茨木市を表しているため、決められない。安藤委員のキャッチフレーズにある「きらめき」と「はばたく」の考え方等、素晴らしいアイデアだと思う。どのキャッチフレーズも良いと思う。</p>
矢野委員	<p>どのキャッチフレーズも素晴らしい考えに基づいており、納得できる考えである。</p>
森委員	<p>本日新鮮な目で拝見したが、どのキャッチフレーズも生涯学習に対する想いが込められており、素晴らしいと思う。特に山田委員、落合委員、安藤委員のキャッチフレーズには熱い想いがあるため選びきれない。</p> <p>ただ、キャッチフレーズを作成する際はインパクトが重要となるため、生涯学習に興味がある人、ない人も全ての方が対象となるためインパクトが必要になると思う。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員長	どのキャッチフレーズもいい案であるため、委員長としても困っている。いかがか。
高尾委員	<p>「学ぶ」「楽しい」「生きる」という言葉は、生涯学習として必要であると思う。41、43 ページの空白に挿入することを考えると、長すぎず、覚えやすい、インパクトがあるものが良いのではないか。また、「平仮名」と「漢字」のどちらで表記するかは、検討する必要がある。</p> <p>安藤委員の「きらめき はばたく まなびのまち 茨木」は、「生きる」という文字はないが、「まなび」と「茨木」があり、短く、分かりやすい。選択する際のポイントになると思う。</p>
今西委員長	選択の方法として、「平仮名」「短い」「インパクトの強さ」は基準にしていただければと思う。高尾委員は安藤委員のキャッチフレーズが良いか。
高尾委員	シンプルでいいと思う。
今西委員長	他いかがか。
野崎委員	<p>視点を変えると、韻も重要だと思う。「ひらめき」「きらめき」「茨木」など「イ」音で繋がると読みやすく、流暢になると思う。</p> <p>内容的には、「わたしが生きる あなたが生きる 生涯学習のまち 茨木」がいいのではないかと思う。</p>
今西委員長	私が各委員の意見を集約し、安藤委員のキャッチフレーズを中心に再考し、野崎委員の「韻を踏む」という意見も踏まえ、検討するがよいか。
全委員	【異議なし】
今西委員長	では、計画の修正案について検討する。いかがか。
内山委員	<p>計画全体の精度が高められ、特にアンケート調査の内容が前回と比較すると修正されていることから市民の意見を活用された良い計画になっていると思う。</p> <p>1点、43 ページ上段に記載がある「取組」の内容は、具体的な施策の内容が記載されている。そのため「取組」ではなく、「具体的な取組」や「施策としての取組」等にしてみてはどうか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員長	事務局、いかがか。
地頭江参事	第4章「生涯学習を推進するための目指す姿と取組」のⅠからⅢのタイトルの表記に合わせている。そのため、先ほど野崎委員より指摘があった第4章「Ⅰ 目指すべき姿」は「Ⅰ めざす姿」に変更する。
今西委員長	内山委員、いかがか。
内山委員	「取組」という言葉は、第4章「生涯学習を推進するための目指す姿と取組」の「Ⅲ 生涯学習推進の取組」のⅠからⅢのタイトルにおいても記載されている。タイトルとして統一するという意味は分かるが、タイトルであるため「具体的な取組」や「施策としての取組」等の記載があっても良いのではないか。
地頭江参事	第4章「生涯学習を推進するための目指す姿と取組」のタイトルが、「生涯学習推進の取組」であるため、この表題にて統一することはどうか。
今西委員長	内山委員、いかがか。
内山委員	問題ない。
高尾委員	1ページ目がモノクロである。製本される際もモノクロか。
地頭江参事	資料完成後、意見が追加されたことにより差替えを行ったため、モノクロとなった。製本時は、カラーになる予定である。
今西委員長	他、いかがか。
三輪委員	16ページ「⑤生涯学習情報を入手している手段」について、1位は「インターネット」、2位は「知人・友人・同僚・家族からの口コミ」、3位は「市広報誌」である。 今後の生涯学習情報の発信は、市広報誌を活用することが重要である。何故なら、若者はインターネットにより情報を得るが、50代以上の方は広報誌により情報を得ると思う。活用方法の例としては、生涯学習に関する情報を市広報誌にてより大きく取り扱って頂きたい。現在も市広報誌に生涯学習情報は掲載されているが、使用方法について研究して頂きたい。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員長	<p>市広報誌の重要性は認識しているが、より活用して頂きたいと思う。本計画が策定された際には、市広報誌にて周知して頂きたい。</p>
木村委員	<p>リタイアした人が何をしたいのか分からず、生涯学習に関する情報を探する場合、インターネットを利用できない人はどのように居場所を得ることができるのか。</p> <p>私は今回初めて「Next Stage」を拝見したが、様々な情報が掲載され、驚いている。リタイアした人が自分の居場所を見つけることができるよう、情報発信方法について検討して頂きたい。</p>
今西委員長	<p>学習を十分に出来にくい方々には、3つの解決策がある。それは、「学びの場の提供」、「情報」、「指導者」の3要素である。ここで、木村委員の質問に対して、的確な答えをするならば「学習相談」である。</p> <p>「学習相談」は「相談事業」であり、1987年に文科省の専門家委員会ができ、進められている。生涯学習の言葉でいうと、「学習情報提供」と「学習相談」と呼ぶ。「学習相談」には3つのタイプ別に分けられ、「カウンセリング的学習相談」、「レファレンス的学習相談」、「エンサイクルメディア的学習相談」である。木村委員の質問に対する支援は、「カウンセリング的学習相談」である。</p> <p>本計画において直接できることではないが、特に公民館やきらめきの業務においても進めていただきたい。もちろん、役所全体が相談窓口であるという意識をもって頂きたいと思う。</p> <p>他いかがか、よろしいか。</p> <p>本日頂いた意見に対して、修正が必要な部分もあったので、事務局と調整の上、私のほうでとりまとめさせていただければと思う。</p> <p>それでは、以上で本日予定していた案件は全て終了したため、最後に事務局より連絡事項があればお願いしたい。</p>
地頭江参事	<p>最後に事務局から事務連絡をさせていただく。</p> <p>今後の予定は、2月1日から25日まで市民の皆さまに対してパブリックコメントを行い、ご意見をいただきたいと考えている。パブリックコメントの意見を踏まえ、計画の最終案をご審議いただき、併せて答申案についてもご検討いただきたい。</p> <p>次回の日程は、3月中旬を予定している。日程は後日調整させていただく。</p>
今西委員長	<p>何かご質問等はあるか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>それでは、これをもって議事を終了させていただく。ありがとうございました。</p> <p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>